

科目区分・分類	専門・演習	対象学科名・学年	電子情報2年	科目コード	29400907
科目名	電子情報工学基礎演習 B Fundamental Exercises B				
担当教員	藤田 悠				
単位数(時間数)	必修 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(C-1)		
授業の目的と概要	工学で必要となる数学の基礎力を身につけるため、微分積分 I、線形代数 I で学習した内容の復習を中心にした問題演習を行う。				
先修科目	電子情報工学基礎演習 A				
後修科目					
備考					
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	ガイダンスと演習	2	本授業の概要を理解することができる		
2	微分法：関数の極限と導関数	2	関数の極限について理解することができる		
3	微分法：いろいろな関数の導関数	2	さまざまな関数の導関数を求めることができる		
4	微分法の応用：関数の変動(1)	2	関数の増減、変曲点などの性質を理解することができる		
5	微分法の応用：関数の変動(2)	2	関数の増減、変曲点などの性質を理解することができる		
6	微分法の応用：いろいろな応用(1)	2	微分法を適用可能な応用問題を解くことができる		
7	微分法の応用：いろいろな応用(2)	2	微分法を適用可能な応用問題を解くことができる		
8	微分法・微分法の応用の復習	2	微分法および微分法の応用問題を解くことができる		
	<b>後期中間試験</b>				
9	ベクトル：平面のベクトル(1)	2	平面のベクトルを理解できる		
10	ベクトル：平面のベクトル(2)	2	平面のベクトルを理解できる		
11	ベクトル：空間のベクトル(1)	2	空間のベクトルを理解できる		
12	ベクトル：空間のベクトル(2)	2	空間のベクトルを理解できる		
13	行列：行列	2	行列の性質を理解することができる		
14	行列：連立一次方程式と行列	2	行列を用いて連立一次方程式を解くことができる		
15	ベクトル・行列の復習	2	行列・ベクトルの問題を解くことができる		
	<b>学年末試験</b>				
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	微分法・積分法・ベクトル・行列に関する演習を通じてそれぞれの基礎事項を理解するとともに、基本的な問題を解くことができる。これらを満足することで、(C-1)の達成とする。				
成績評価	毎回実施する小テスト(50%)、定期試験(50%)で評価する。				
教材	教科書：新井一道他著，新微分積分I，大日本図書 新井一道他著，新線形代数，大日本図書 問題集：新井一道他著，新微分積分I問題集，大日本図書 新井一道他著，新線形代数問題集，大日本図書				
オフィスアワー	木曜日16:00~17:00，電子情報工学科棟2F情報処理準備室				